

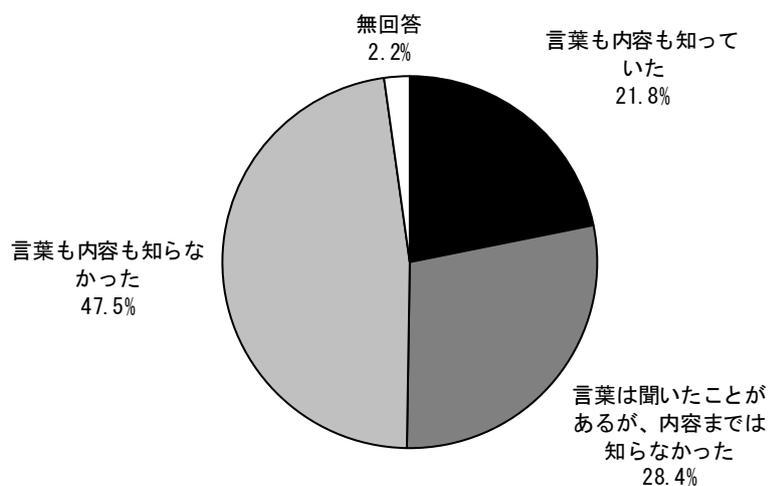
10 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

【H28 年調査新規設問】

問16 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をどの程度知っていましたか？
(SA)

「言葉も内容も知らなかった」が 47.5%で最も高くなっています。次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らなかった」が 28.4%、「言葉も内容も知っていた」が 21.8% となっています。

(SA) N=591



<「問1-1 性別」とのクロス集計>

“男性”の「言葉も内容も知っていた」の割合が“女性”と比べて高くなっています。

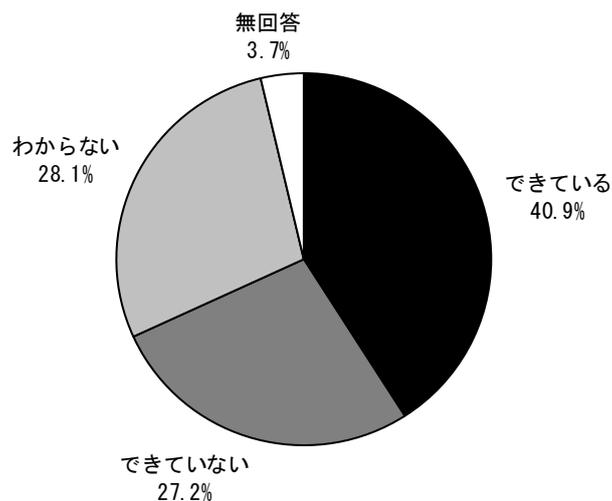
	合計	言葉も内容も知っていた	言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らなかった	言葉も内容も知らなかった	無回答
上段:度数 下段:%					
女性	224 100.0	43 19.2	60 26.8	117 52.2	4 1.8
男性	138 100.0	41 29.7	35 25.4	60 43.5	2 1.4

【H28 年調査新規設問】

問17 あなたは現在、仕事と生活の調和がとれた暮らしができていますか。
(SA)

「できている」が40.9%で最も高くなっています。次いで「わからない」が28.1%、「できていない」が27.2%となっています。

(SA) N=591



<「問1-1 性別」とのクロス集計>

“男性”の「できていない」割合が“女性”と比べて高くなっています。

	合計	できている	できていない	わからない	無回答
上段:度数 下段:%					
女性	224 100.0	89 39.7	46 20.5	79 35.3	10 4.5
男性	138 100.0	56 40.6	43 31.2	38 27.5	1 0.7

<「問1-4 結婚」とのクロス集計>

“離婚”している人の「できていない」割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	できている	できていない	わからない	無回答
既婚(事実婚を含む)	422 100.0	175 41.5	116 27.5	118 28.0	13 3.1
離婚	35 100.0	11 31.4	14 40.0	4 11.4	6 17.1
死別	48 100.0	30 62.5	5 10.4	11 22.9	2 4.2
未婚	77 100.0	23 29.9	22 28.6	32 41.6	- -

<「問16 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度」とのクロス集計>

“言葉も内容も知っていた”人では「できている」の割合が他の認知度と比べて高くなっています。

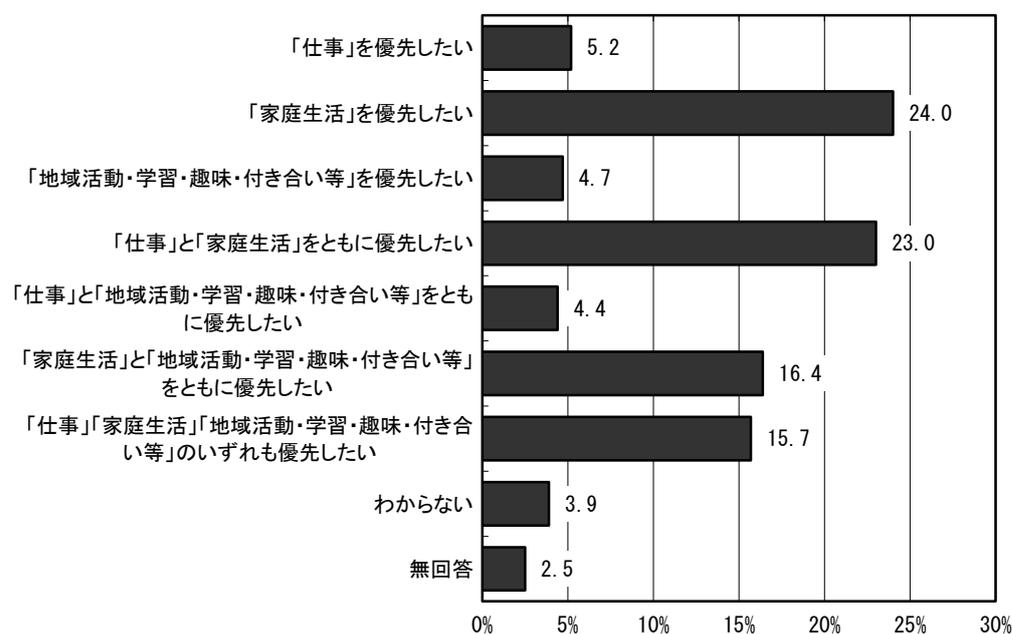
上段:度数 下段:%	合計	できている	できていない	わからない	無回答
言葉も内容も知っていた	129 100.0	73 56.6	39 30.2	16 12.4	1 0.8
言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らなかった	168 100.0	63 37.5	52 31.0	46 27.4	7 4.2
言葉も内容も知らなかった	281 100.0	105 37.4	68 24.2	103 36.7	5 1.8

【H28年調査新規設問】

問18 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」の優先度について、あなたの希望にもっとも近いものはどれですか？(SA)

「家庭生活」を優先したい」が24.0%、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が23.0%で高くなっています。次いで「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい」が16.4%、「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先したい」が15.7%で続いています。

(SA) N=591

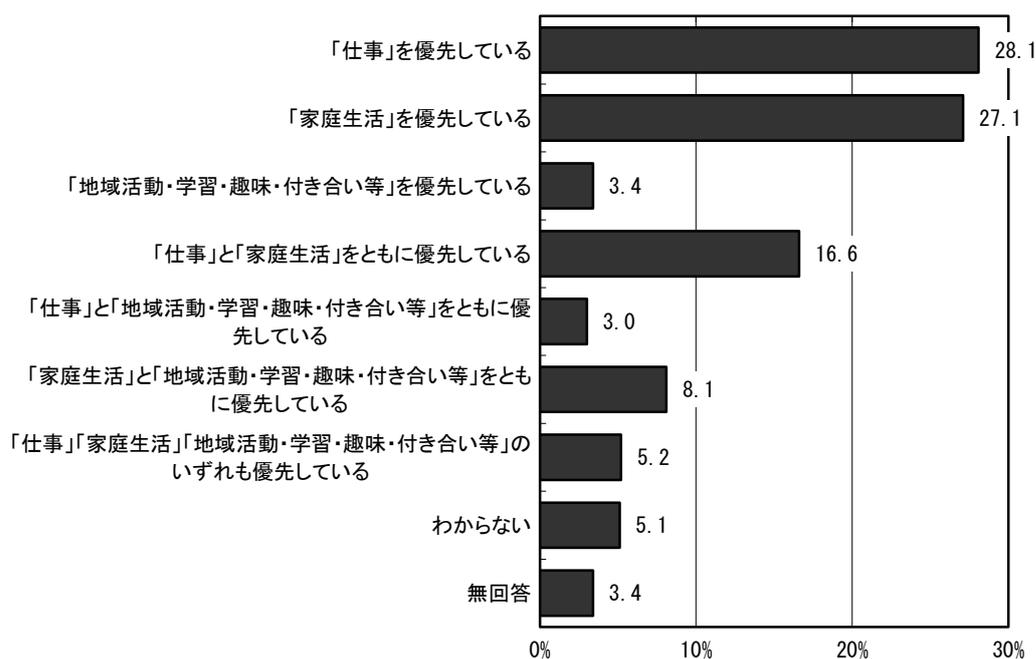


【H28 年調査新規設問】

問19 それでは、あなたの 現実の優先度について、もっとも近いものはどれですか？ (SA)

「仕事」を優先している」が 28.1%、「家庭生活」を優先している」が 27.1%で高くなっています。次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が 16.6%が続いています。

(SA) N=591

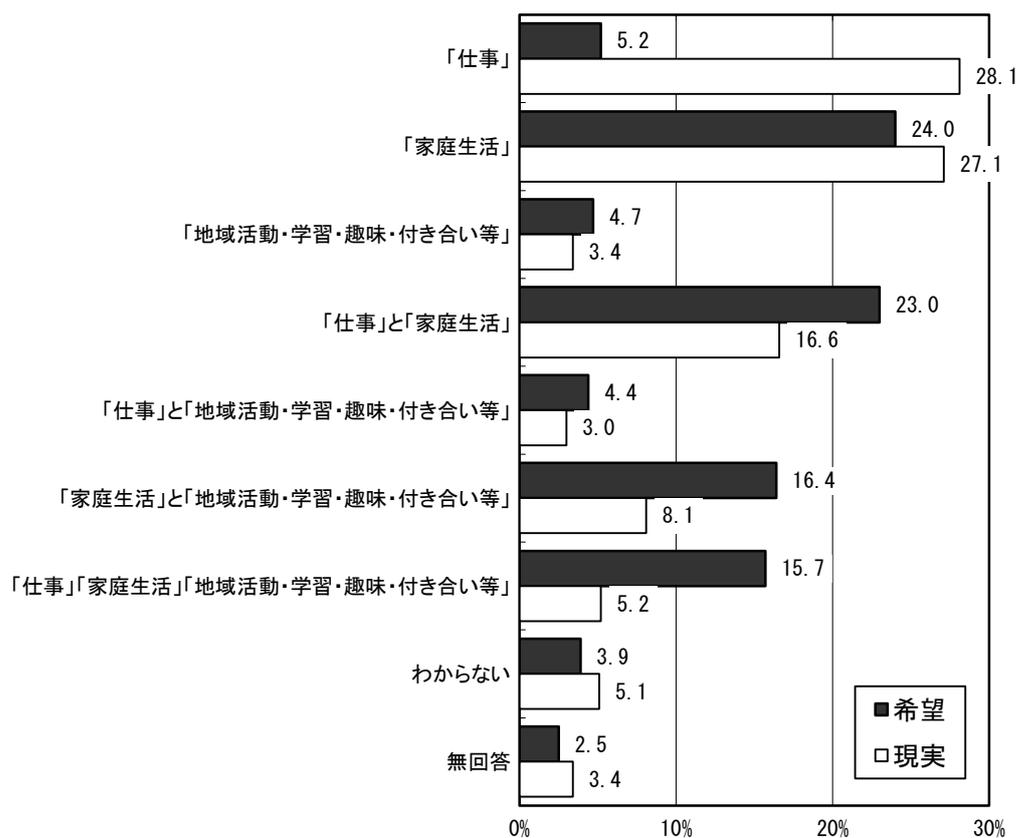


問18・19 【再掲】生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」の優先度の希望と現実 (SA)

「仕事」の希望が低い一方、現実では最も高くなっています。

「家庭生活」や「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」、「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」の希望が高いものの、現実では低くなっています。

(SA) N=591



<「問1-1 性別」とのクロス集計>

希望では“女性”は「家庭生活」を優先したい」の割合が“男性”と比べて高くなっており、“男性”は「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい、「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先したい」の割合が“女性”と比べて高くなっています。

現実では“女性”は「家庭生活」を優先している」の割合が“男性”と比べて高くなっており、“男性”は「仕事」を優先している、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が“女性”と比べて高くなっています。

男女ともに、希望と比べて「仕事」を優先している」割合が高くなっています。“女性”では希望と比べて「家庭生活」を優先している」の割合が高くなっています。

【希望】

	合計	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域活動・学習・趣味・付き合い等」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい	「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先したい	わからない	無回答
上段:度数 下段:%										
女性	224 100.0	9 4.0	66 29.5	11 4.9	41 18.3	11 4.9	41 18.3	30 13.4	11 4.9	4 1.8
男性	138 100.0	11 8.0	22 15.9	6 4.3	36 26.1	7 5.1	19 13.8	29 21.0	6 4.3	2 1.4

【現実】

	合計	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域活動・学習・趣味・付き合い等」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先している	「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先している	「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先している	わからない	無回答
上段:度数 下段:%										
女性	224 100.0	51 22.8	81 36.2	6 2.7	26 11.6	7 3.1	22 9.8	10 4.5	15 6.7	6 2.7
男性	138 100.0	59 42.8	18 13.0	6 4.3	27 19.6	4 2.9	5 3.6	10 7.2	7 5.1	2 1.4

<「問1-4-2 就労状況」とのクロス集計>

希望では“共働きである”人は「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」の割合が他の就労状況と比べて高く、“一方が家事専念”の人では「家庭生活」を優先したい」の割合が他の就労状況と比べて高くなっています。

現実では“共働きである”人は「仕事」を優先している、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」の割合が他の就労状況と比べて高くなっています。“一方が家事専念”の人では「家庭生活」を優先している」の割合が他の就労状況と比べて高くなっています。

【希望】

	合計	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域活動・学習・趣味・付き合い等」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先したい	「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先したい	わからない	無回答
上段:度数 下段:%										
共働きである	215 100.0	16 7.4	48 22.3	4 1.9	72 33.5	8 3.7	20 9.3	43 20.0	3 1.4	1 0.5
一方が家事専念	117 100.0	3 2.6	42 35.9	4 3.4	20 17.1	2 1.7	24 20.5	20 17.1	2 1.7	-
ともに無職である	78 100.0	-	18 23.1	6 7.7	6 7.7	3 3.8	28 35.9	7 9.0	4 5.1	6 7.7

【現実】

	合計	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域活動・学習・趣味・付き合い等」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先している	「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」をともに優先している	「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」のいずれも優先している	わからない	無回答
上段:度数 下段:%										
共働きである	215 100.0	93 43.3	45 20.9	2 0.9	53 24.7	3 1.4	-	15 7.0	3 1.4	1 0.5
一方が家事専念	117 100.0	14 12.0	53 45.3	3 2.6	16 13.7	4 3.4	15 12.8	10 8.5	2 1.7	-
ともに無職である	78 100.0	1 1.3	27 34.6	9 11.5	7 9.0	-	21 26.9	1 1.3	4 5.1	8 10.3

<「問18 生活の中での優先度の希望」とのクロス集計>

優先度の希望それぞれの項目で、現実と同じ項目を優先している割合が高くなっています。

「仕事」を優先している、「家庭生活」を優先している」の比率が高い傾向がみられます。

上段:度数 下段:%	【現実】「優先している」								
	合計	「仕事」	「家庭生活」	「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	「仕事」と「家庭生活」	「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	わからない	無回答
「仕事」	31 100.0	27 87.1	-	1 3.2	3 9.7	-	-	-	-
「家庭生活」	142 100.0	26 18.3	91 64.1	2 1.4	16 11.3	1 0.7	1 0.7	3 2.1	1 0.7
「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	28 100.0	4 14.3	3 10.7	13 46.4	-	2 7.1	3 10.7	-	2 7.1
「仕事」と「家庭生活」	136 100.0	51 37.5	27 19.9	-	52 38.2	-	-	1 0.7	5 3.7
「仕事」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	26 100.0	12 46.2	1 3.8	1 3.8	1 3.8	7 26.9	1 3.8	1 3.8	2 7.7
「家庭生活」と「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	97 100.0	13 13.4	24 24.7	2 2.1	8 8.2	2 2.1	40 41.2	4 4.1	3 3.1
「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合い等」	93 100.0	28 30.1	10 10.8	1 1.1	18 19.4	5 5.4	3 3.2	24 25.8	2 2.2
わからない	23 100.0	5 21.7	4 17.4	-	-	1 4.3	-	-	13 56.5

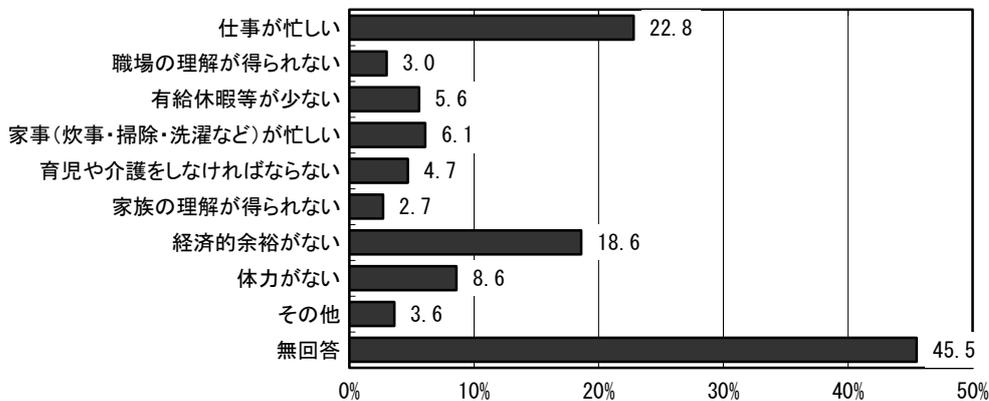
【H28年調査新規設問】

問18の「希望優先度」と問19の「現実優先度」が異なる方を対象とした設問

問20 「希望優先度」と「現実優先度」が異なる理由は何ですか？ (MA)

「仕事が忙しい」が22.8%で最も高くなっています。次いで「経済的余裕がない」が18.6%、「体力がない」が8.6%が続いています。

(MA) N=591



<「問1-1 性別」とのクロス集計>

“男性”では「仕事が忙しい」の割合が“女性”と比べて高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	仕事が忙しい	職場の理解が得られない	有給休暇等が少ない	家事(炊事・掃除・洗濯などが忙しい)	育児や介護をしなければならぬ
女性	224 100.0	37 16.5	8 3.6	12 5.4	20 8.9	11 4.9
男性	138 100.0	52 37.7	4 2.9	10 7.2	5 3.6	5 3.6

上段:度数 下段:%	合計	家族の理解が得られない	経済的余裕がない	体力がない	その他	無回答
女性	224 100.0	12 5.4	39 17.4	14 6.3	13 5.8	106 47.3
男性	138 100.0	1 0.7	31 22.5	15 10.9	1 0.7	52 37.7

<「問1-4 結婚」とのクロス集計>

“既婚（事実婚を含む）”、“離婚”、“未婚”では「仕事が忙しい」の割合が高くなっています。また、“離婚”、“未婚”では「経済的余裕がない」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	仕事が忙しい	職場の理解が得られない	有給休暇等が少ない	家事（炊事・掃除・洗濯など）が忙しい	育児や介護をしなければならぬ
既婚（事実婚を含む）	422 100.0	97 23.0	13 3.1	23 5.5	30 7.1	26 6.2
離婚	35 100.0	9 25.7	2 5.7	5 14.3	3 8.6	1 2.9
死別	48 100.0	2 4.2	1 2.1	-	1 2.1	-
未婚	77 100.0	25 32.5	2 2.6	5 6.5	2 2.6	-

上段:度数 下段:%	合計	家族の理解が得られない	経済的余裕がない	体力がない	その他	無回答
既婚（事実婚を含む）	422 100.0	13 3.1	71 16.8	33 7.8	11 2.6	197 46.7
離婚	35 100.0	-	10 28.6	1 2.9	1 2.9	14 40.0
死別	48 100.0	-	7 14.6	9 18.8	3 6.3	30 62.5
未婚	77 100.0	3 3.9	20 26.0	6 7.8	5 6.5	24 31.2

<「問1-4-2 就労状況」とのクロス集計>

“共働きである”人では「仕事が忙しい」、「経済的余裕がない」、「有給休暇等が少ない」の割合が他の就労状況と比べて高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	仕事が忙しい	職場の理解が得られない	有給休暇等が少ない	家事(炊事・掃除・洗濯など)が忙しい	育児や介護をしなければならぬ
共働きである	215 100.0	76 35.3	12 5.6	21 9.8	13 6.0	9 4.2
一方が家事専念	117 100.0	17 14.5	-	2 1.7	10 8.5	9 7.7
ともに無職である	78 100.0	3 3.8	1 1.3	-	5 6.4	7 9.0

上段:度数 下段:%	合計	家族の理解が得られない	経済的余裕がない	体力がない	その他	無回答
共働きである	215 100.0	4 1.9	49 22.8	7 3.3	8 3.7	76 35.3
一方が家事専念	117 100.0	5 4.3	11 9.4	12 10.3	1 0.9	68 58.1
ともに無職である	78 100.0	3 3.8	10 12.8	13 16.7	2 2.6	46 59.0

【主なその他回答】

内容	類似回答数
家族の協力があってこそ仕事ができている	2
パートでも仕事をしている以上は責任がある。きっちり仕事はしたい	1
地域活動や学習に対して時間的負担が心配	1
特に優先されていることはない。完全に満足していることはなくそれぞれに多少不満はある	1